

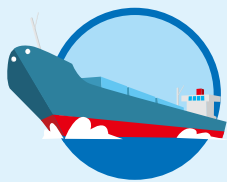
楽しく学び、くわしく知ろう!

海運と船と港の役割



しものせきばん
下関版

じ どうよう
児童用テキスト



下関の街を探検しよう①

東アジア貿易の窓口として発展する下関港

下関港は、人とモノの両方を海外へ運ぶことができる日本と世界を役割を担ってきました。韓国へは毎日、中国へは週に2便国際フェリー
またコンテナ定期航路もあり全世界と直接・間接的に結ばれた国際貿



本港地区
下関港の中で中心的な役割を担うエリアです。韓国や中国を結ぶフェリーがある国際ターミナルがあります。



長州出島
日本海側にある沖合人工島です。中古自動車の輸出や、貨物を積んだ大型船の入港など、これからの発展が期待されています。

西山・荒田・福浦地区
主に木材を取り扱い、工業地帯を支えるエリアです

下関港港湾区域

濃い水色の部分が下関港港湾区域です。5地区から下関港は成り立っており、各地区の港ではそれぞれ施設にあった貨物を取り扱っています。

下関港は、
いくつもの顔を
持っているんだね！

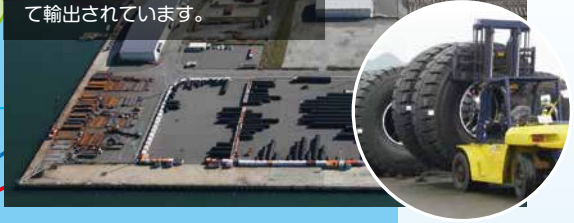


結ぶ港として重要な
が運航しています。
えきこう
易港となっています。



長府地区

直径 4.02m もある世界一大きな
タイヤの製品せいひんなどが海外に向け
て輸出されています。



東港地区 (あるかぼーと)

5万トン級の大型旅客船ていはくが停泊できる
エリア。水族館や遊園地・遊覧船乗り
場があり、1日楽しめる観光名所です。



下関港とくせいの特性

1 人とモノが運べる下関港

国際フェリーが入港、コンテナ貨物なども取り扱っており、
人とモノが行き来できる外国と日本を結ぶ港です。

2 輸送地域の広さ日本一

輸入コンテナ貨物の約 49%が下関港けいゆ経由で関西以東へ
輸送され、また輸出コンテナ貨物の約 34%が関西以東
から下関港経由で輸送されています。

3 物流スピード重視

輸入品ではアパレルや生鮮食品せいせんしゆくひんなどを中心としながら、
輸出品についても電子部品や生産機械など急ぐ貨物が
取り扱われています。

なになに
コラム

水産大学校 (山口県下関市永田本町2丁目7-1)

水産のあらゆる分野を学ぶ学校です。同校の海洋生
産管理学科または海洋機械工学科しゆぎょうを修業したあとに専攻
科に進むと、船員の資格ししかくを取るための勉強ができます。

しもの せき たん けん
 下関の街を探検しよう②

こく さい ぼう えき こう
 多くの人とモノを運ぶ国際貿易港

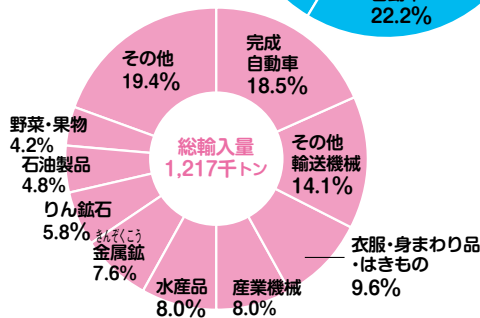
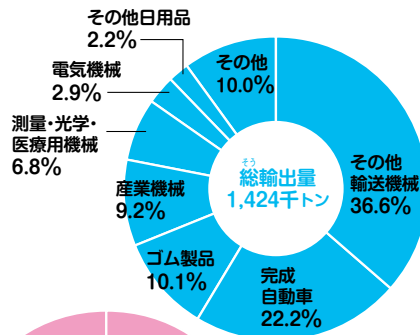
元治元年(1864年)の開港以来、下関港は日本と世界を結ぶ重要な役割を担ってきました。韓国や中国を結ぶ国際フェリーや平成4年(1992年)からコンテナ航路もでき、北アメリカやヨーロッパなど全世界を間接的に結ぶ国際貿易港として発展してきました。

下関港から船や鉄道、飛行機、トラック輸送で日本各地へ！

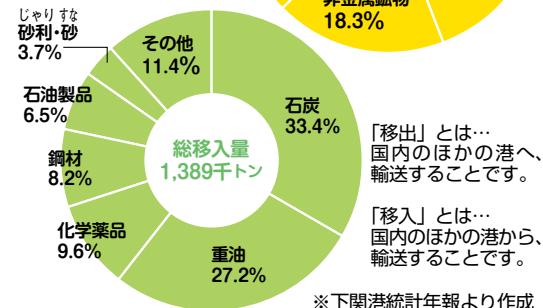
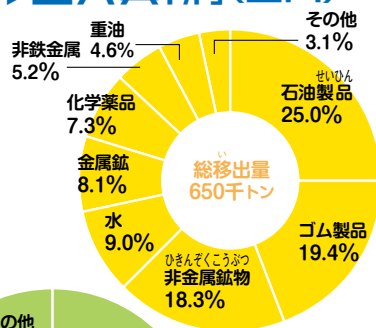
韓国や中国などの大陸と近い下関港は、本州と九州を結ぶ重要な港です。輸送された貨物は下関港から空港や高速道路、鉄道などを使い日本全国に運ばれていきます。



[主な輸出入貨物] (外国)



[主な移出入貨物] (国内)



「移出」とは…国内のほかの港へ、輸送することです。

「移入」とは…国内のほかの港から、輸送することです。

※下関港統計年報より作成
 平成26年の数値



巨大な船をつくっているよ！



下関の造船所では
最先端の技術でさまざまな船をつくっています

フェリー、自動車運搬船をはじめ、最新テクノロジーを駆使した海洋研究船や調査船、軽合金製高速艇など多種多様な船を世界の海に送り出しています。



貨物船 自動車運搬船やコンテナ船などの貨物船



特殊船 海洋研究船や地質調査船などのハイテクノロジー船



軽合金製高速艇 海上保安庁の巡視船や高速旅客船などの高速船



フェリー 快適な船旅を楽しむ世界有数のフェリー



甲板機械 船に設置する電動油圧クレーンやロープのウインチ



試験装置 地震のゆれを再現する試験装置

進水式を見学しよう！

大迫力の進水式を間近で見て、体験しよう！

三菱重工業下関造船所
連絡先 〒750-8505 山口県下関市彦島江の浦町6丁目16番1号
TEL.(083)266-5978 FAX.(083)266-8274





- ◆ 編集委員 (敬称略)

原田孝之 下関市教育委員会 教育部学校教育課 主査	瀧口 稔 下関市立角倉小学校 教諭
藤井俊亮 下関市立生野小学校 校長	正木資介 下関市立本村小学校 教諭
山根基秀 下関市立王喜小学校 教頭	

- ◆ 後援

国土交通省海事局・港湾局	http://www.mlit.go.jp/
下関市教育委員会	
全国小学校社会科研究協議会	

- ◆ 編集協力 (50音順)

公益財団法人 日本海事センター	http://www.jpmac.or.jp/
一般社団法人 日本港運協会	http://www.jhta.or.jp/
公益社団法人 日本港湾協会	https://www.phaj.or.jp/
一般社団法人 日本造船工業会	http://www.sajn.or.jp/
日本内航海運組合総連合会	http://www.naiko-kaiun.or.jp/

- ◆ 写真・資料提供 (50音順)

旭タンカー (株)、(有) アドメディア、今治造船 (株)、NS ユナイテッド内航海運 (株)、(株) 上組、川崎汽船 (株)、川崎近海汽船 (株)、(株) 神田造船所、近海郵船 (株)、栗林商船 (株)、下関市港湾局、ジャパン マリンユナイテッド (株)、(株) 商船三井、住友大阪セメント (株)、JX 日鉱日石石油基地 (株)、(独) 鉄道建設・運輸施設整備支援機構、トヨフジ海運 (株)、日鉄住金物流 (株)、日藤海運 (株)、(一社) 日本船主協会、日本郵船 (株)、ホクレン農業協同組合連合会、三菱重工業 (株)

- ◆ 編集・発行

公益財団法人 日本海事広報協会	http://www.kaijipr.or.jp
〒104-0043 東京都中央区湊2-12-6(湊SYビル) TEL.03-3552-5033 FAX.03-3553-6580	

- ◆ 制作

株式会社 プラスエム
〒104-0032 東京都中央区八丁堀3-17-6 群成舎八丁堀ビル6階
TEL.03-6222-4813 FAX.03-6222-4823

小学校 年 組

名前